

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（増補新版 現代の国語（数研出版））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用力を身に着け、使いこなすこと。
- 【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字、豊富な語彙、語の使い方などの基礎的な国語の知識や技能を持ち、実社会で生かすことができる応用力を身に着け、使いこなすことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
前期	単元1「社会と文化」 教材『コミュニケーション能力とは何か』 【知識及び技能】 評論文の構成を考えながら読み、本文中での言葉の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えるコミュニケーション能力とは何かについて理解して、自分の経験をふまえて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会様式と筆者の主張の相違について考え、表現する。	・指導事項 学習方法の理解、確立 ・教材 「現代の国語」教科書、辞書 ・「視点を変える」方法について理解し、「自在に視点を変えられる目」とは何か、まとめる。 ・自習ノートに『ささやかな日常』の要旨、学習の手引きなどをまとめる。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとめごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	教材『水の東西』 【知識及び技能】 本文が二項対立の形で書かれていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「水」を基に、東西の文化の違いを比較し、本文から読み取れる日本文化の特質について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 東西の文化の違いについて興味・関心をもち、身の回りから探そうとしている。	・指導事項 学習方法の理解、確立 ・教材 「現代の国語」教科書、辞書 ・端末で「鹿おどし」についてインターネットで調べ、動きや音を確認する。 ・自習ノートに『白紙』の要旨、学習の手引きなどをまとめる。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとめごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
前期	単元2「批評の方法」 教材『羅生門の最期の一文』 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 言語の違いが世界の認識にどのような影響を与えるかを理解し説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて他者と意見交換ができる。	・指導事項 学習方法の理解、確立 ・教材 「現代の国語」教科書、辞書 ・端末で色の切り分け方を他者と共有し本文の深い理解に繋げる。 ・自習ノートに『時間と自由の関係』の要旨、学習の手引きなどをまとめる。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとめごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	9
	教材『わらしべ長者の経済学』 【知識及び技能】 本文中のキーワードである解釈の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現と解釈の関係における読者の創造性についての筆者の主張を的確に読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえ、解釈について他者と意見交換ができる。	・指導事項 評論文を読むために着目する点を学ぶ。 ・教材 「現代の国語」教科書、辞書 ・端末を使用し、関連資料を探してみる。 ・自習ノートに『政治的思考』の要旨などをまとめる。	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとめごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1

